

保護者・地域みなさま、本校の学校教育にいつもご理解とご協力ありがとうございます。
1月に実施した(児童・保護者・教職員)アンケートの集計ができました。分析した結果をお知らせいたします。



～学校アンケートの結果(児童・保護者)～

児童集計

1	授業はわかりやすいですか	6	外で元気に体を動かしていますか
2	家庭学習に進んで取り組んでいますか	7	安全に気を付けて生活できていますか
3	知りたいことを本やインターネットで調べてまとめることができますか	8	好き嫌いをせずにバランスよく食べていますか
4	友達を大切にしていますか	9	学校外のさまざまな行事に進んで参加していますか
5	進んで人のために行動していますか	10	将来の夢やしてみたい仕事がありますか



●設問3では、前回よりも「はい」「だいたい」が5ポイント増えています。今年度GIGAスクール構想において一人一台端末が実現され、各学年ともに発達段階に応じた活用を創意工夫し、授業において活用する場面が増えたことにより、児童にとってインターネットを活用して情報収集することがより身近になったと考えられます。今後も、GIGA端末を活用して、個別最適化な学習を目指すとともに、情報を正しく扱うために情報モラル教育にも力を入れていきたいと思ひます。

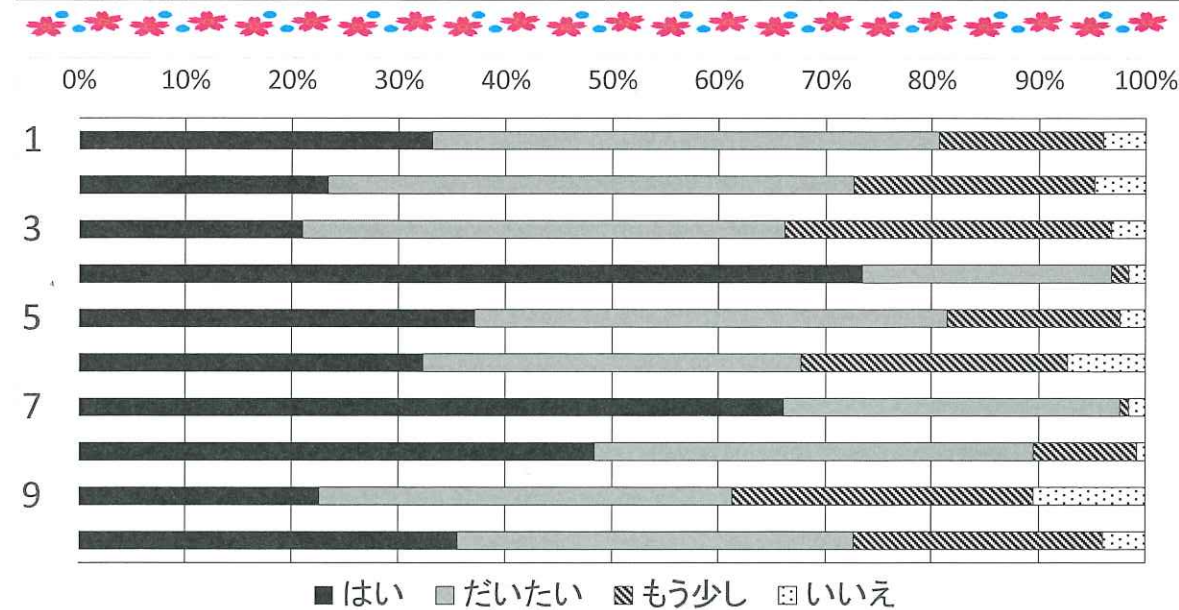
●設問4では、前回よりも「はい」「だいたい」が5ポイント増加しています。人権教育については、学校の教育活動全体において実施しているところですが、とりわけ本校では、毎月「あったか週間」を設定し、人権における様々なテーマで、道徳を中心に指導してきました。今後も一つ一つの授業において、豊かな人権感覚や道徳的な判断力、実践意欲を育成できるよう教材研究して参りたいと思ひます。

●設問2では、前回よりも「いいえ」が5ポイント近く増えています。授業での学習をより確かなものにしていくために「家庭学習の習慣」を身に付けることは欠かせません。学校においては、与えられた課題だけでなく、自分の興味関心をもったことや課題などに自主的に取り組む自主勉強ノートを推進しております。引き続き児童に実践事例を紹介するとともに学校全体としての推進方法についても考えていきたいと思ひます。

保護者集計



1	自ら学ぶ姿勢を大切にするように言葉かけをしていますか	6	子どもは外で元気に体を動かしていますか
2	家庭学習に取り組むための環境づくりができていますか	7	子ども達が安全に生活できるように声かけをしていますか
3	さまざまな情報から正しいことを選択して判断する力を育てることができていますか(ニュースや社会の出来事を通して)	8	子どもがバランスの良い食事をとるように心がけていますか
4	友達を大切にするように声かけをしていますか	9	子どもが学校外のさまざまな行事に進んで参加できるようにしていますか
5	進んで人のために行動するよう声かけができていますか	10	子どもと将来の夢や職業について話していますか



●設問3では、前回より「はい」が6ポイント増えています。児童のGIGA端末活用に伴い、保護者の皆様も、積極的なGIGA端末活用を推進してもらっているようです。特に高学年では、毎週週末を持ち帰りデジタルドリルに取り組んだり、場合によってはオンラインで授業に参加することもあり、保護者の皆様にとってもより身近なものになってきたのではないかと思います。今後も児童が正しく有効活用できるよう助言いただければ幸いです。

●設問6では、前回よりも「はい」が15ポイント減少しています。コロナ禍にあって、様々な活動が制限される中で子どもたちの生活スタイルも外での活動よりも室内での活動に変化してきています。学校においても、緊急事態宣言やまん延防止措置下の対策として、運動場の割り当てや体育の対戦型ゲームの実施の制限など、子どもたちには様々な場面で我慢をしてもらっている状況です。今後感染状況がおさまるにつれ、学校においても運動できる機会や場面を増やしていきたいと思ひます。

●設問8では、前回よりも「はい」「だいたい」合わせて、6ポイント増加しています。健康な生活を送るうえで、しっかりと栄養のバランスが取れた食事をとるということは、非常に大切なことだと思います。特に、始業前の朝ごはんはその一日の学校生活を元気に過ごすためにも重要なことであると思ひます。引き続き保護者の皆様には、児童のよりよい食生活についてご協力いただきますようお願いいたします。

音羽小学校は、市民ぐるみ・地域ぐるみの教育の核としての学校をめざしています

京都市では、今日に至る教育改革の柱として、徹底して「開かれた学校づくり」を推進してきました。これは、学校と家庭・地域との相互の信頼と協働の関係を構築する基盤となっています。今後も、保護者・地域の方々に参画いただき、市民ぐるみ・地域ぐるみの教育を展開していきます。変化の激しい現代社会において、子どもたちが夢と希望をもって未来を切り拓いていけるよう、「生きる力」を育み、社会全体で子どもたちの教育に取り組んでいくことが大切です。子どもたちの豊かな学びと育ちのために、なおいっそうのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

特集 学校評価（2）

学校教育目標

「一人一人が夢と希望にむかって輝いている学校」
～夢と希望にむかって、よりよい未来を創造しようとする子の育成～

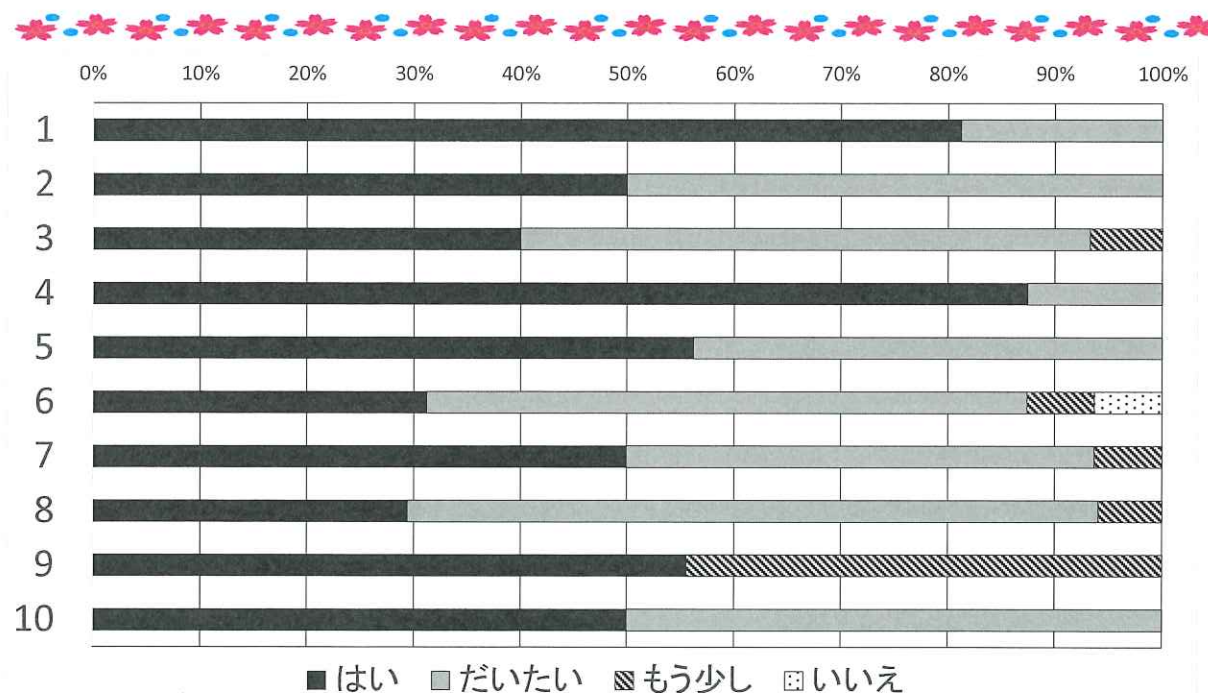
保護者・地域みなさま、本校の学校教育にいつもご理解とご協力ありがとうございます。
1月に実施した（児童・保護者・教職員）アンケートの集計ができました。分析した結果をお知らせいたします。

～学校アンケートの結果（教職員・地域）～

教職員集計



1	全ての子どもにとってわかる授業をするように心掛けていますか	6	体力向上の取組を意識して進めることができますか
2	授業と家庭学習の内容を連動させ、自学自習につなげていますか	7	安全教育の充実ができていますか
3	図書資料やICTなどを活用して情報を収集・分析し、課題を解決する力を育てることができていますか	8	健康教育・食育に力を注いでいますか
4	友達を大切にし、自分の思いをきちんと伝えるように指導していますか	9	地域の人材や教材を生かした取組ができていますか
5	規範意識を育て、進んで役割を果たすように指導することができていますか	10	キャリア（将来の夢や希望につながる）教育を意識した教育活動を実践していますか



●設問3では、前回よりも5ポイント「はい」「だいたい」が増えています。GIGA端末の活用については教育委員会主催の研修をはじめ校内でも実践交流をするようにしています。また、月に2～3回、ICT支援員が来校し、教職員にGIGA端末を活用した授業方法や校務支援についてアドバイスしてくれています。今後も、研修を重ねて、よりよい活用方法を工夫してまいります。

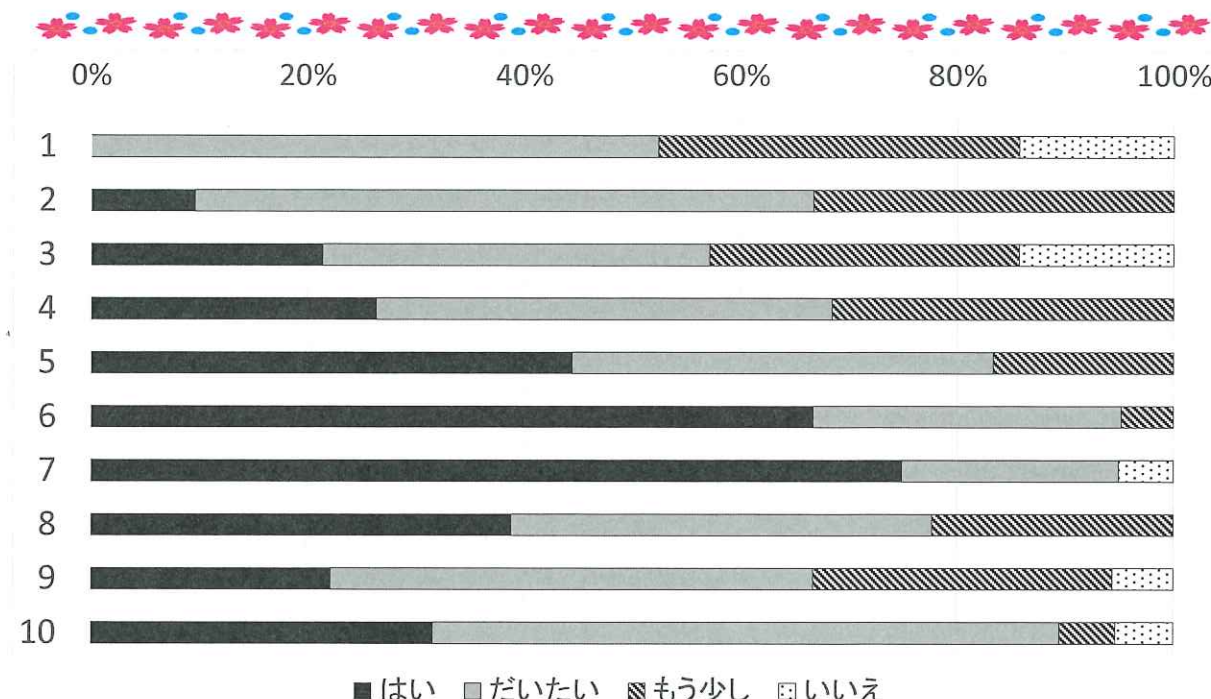
●設問7の安全教育については、前回と同様、「はい」「だいたい」で95%で高い意識をもって安全指導をしているところですが、まだまだ登下校時に児童の行動が危険だというご指摘を地域からいただくこともあります。音羽地域は車の通りが多い場所もありますので、具体的な場所や事例なども示しながら日々の安全指導や安全教育につなげていきたいと思ひます。

●設問10のキャリア教育においては、「もう少し」「いいえ」の回答はありませんでした。今年度もキャリア教育を学校の研究の柱として教職員一丸となり取り組んでまいりました。児童一人一人が「なりたい自分」を意識して日々の教育活動に取り組めるようキャリア夢ファイルを活用し、自分の頑張りの記録をファイリングしてふり返れるようにしたり、毎週、毎月具体的な目標を決め日々努力を重ねられるように取り組んできました。少しずつですが、児童は学校の勉強と自分の夢をつなげて学習してくれるようになってきました。児童アンケートにおいても、90%以上の児童が将来の展望をもってくれている結果が出ています。引き続き、キャリア教育に力を入れてまいりたいと思ひます。

地域集計



1	子どもたちからあいさつをしていますか？	6	教職員は、率先して地域の方にあいさつをしていますか？
2	子どもたちは、登下校時や放課後、休日に交通ルールを守り、安全に過ごすことができますか？	7	学校は、安心・安全な場所になっていると思ひますか？
3	子どもたちは、進んで地域行事に参加していますか？	8	学校は、環境整備や美化活動に取り組んでいますか？
4	学校教育のねらいが伝わっていますか？	9	学校が中心となって、地域・PTAと連携が取れていますか？
5	学校だより・学校ホームページ等を通して、学校の様子が伝わっていますか？	10	学校は、地域を大事にし、地域の方が学校の行事に参加しやすい取組ができていますか？



■ はい ■ だいたい ■ もう少し ■ いいえ

●設問5については、前回より「はい」「だいたい」が10ポイント減りました。コロナ禍において、学校行事が立て続けに変更・中止となり、児童の活躍の様子をなかなか学校だよりやHP等でお伝えしきれない部分があったと思ひます。各学年においては、日ごろの学習の様子について、HPにできる限り投稿し、保護者や地域の皆様へ学校の様子をお伝えできるように努力しております。ぜひ、ご覧いただければと思ひます。

●設問2では、「いいえ」の回答が、前回に比べて5ポイント増加しています。見守り隊の皆さんやPTA地域委員さんに、登下校時の見守りをいただいているおかげで、児童たちは安心して登下校できています。しかし、児童へ安全面の指導が必要な場面多々あることを地域の方よりご指摘いただいています。学校においては、学校での指導以外にも、パトロールなども強化し注意を呼び掛けていきたいと思ひます。

●設問5では、前回より「はい」の回答された方が20ポイント減少しています。依然、コロナ禍において、学校行事や地域の実様との交流が著しく減少する中で、学校としてなかなか地域に向けて学校の取組を発信する機会が減っていることも事実です。地域の皆様とともに、よりよい音羽小学校にしていけるように、学校においては生活科・総合的な学習の時間を中心に、地域の皆様と協働して学習したり、さらにホームページや学校だよりを中心に取組を積極的に発信してまいりたいと思ひます。

学校評価を
ふりかえって

～後期学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました～

結果から、音羽小学校の教育が地域の皆様・保護者の皆様のご理解と温かな見守りに支えられていることを再確認するとともに、本校の課題も明らかにすることができました。

学校教育目標 『一人一人が夢と希望にむかって輝いている学校』 ～夢と希望にむかって、よりよい未来を創造しようとする子の育成～
の具現化をめざし、取組を進めて参りたいと思ひます。これからも、ご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

